

令和7年1月21日審議		
1	申請者	小児科医師 宮下 光洋
	2024-28 WDR45関連神経変性症におけるてんかんの臨床像	
	研究の概要	WDR45遺伝子変異はてんかんと密接な関係があり、時に重度または難治性の経過を辿ることがある。WDR45関連神経変性症は幅広い表現型を示し、その中の代表的な疾患であるβ-propeller蛋白関連神経変性症(BPAN)は脳MRIで黒質と淡蒼球に鉄沈着を認めることが特徴的である。一方で、脳波の特徴、特に臨床発作と発作時脳波パターンの対応を詳細に論じた報告は少ないことから臨床所見および脳波所見の評価を目的とした。
	判定	承認 本申請は承認された。
2	申請者	小児科医師 宮下 光洋
	2024-29 急性脳炎・脳症後てんかんに対する大脳半球離断術の有効性	
	研究の概要	急性脳炎・脳症後てんかんは薬剤抵抗性を示す一方で、一般的に外科的根治術が選択されることは少ない。手術適応のある患者を見逃さないよう術前の検査結果や術後経過に基づいたデータ解析により手術適応のある患者を抽出する可能性が上がると考えられる。
	判定	承認 本申請は承認された。